

米空軍グローバル・ホークの横田飛行場への一時展開について

令和5年5月12日付広資料第24号、同月15日付広資料第25号及び同月22日付広資料第30号でお知らせしたこのことについて、防衛省北関東防衛局から、下記のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

記

○ 情報提供内容

横田基地広報部からの情報によると、太平洋空軍は、自由で開かれたインド太平洋構想を維持、支援するために、RQ-4 グローバル・ホークが横田飛行場に飛来した後、グアムのアンダーセン空軍基地所属の第319運用群第4偵察中隊分遣隊により順次運用を開始したとのことです。

また、グローバル・ホークの任務は、平時、有事、危機における全世界の連合軍、同盟国、同志国を支援するために、米国による広範な情報、監視、偵察能力を提供することであり、高高度、長時間、遠隔操縦、非武装の航空偵察システムとして、統合されたセンサーとカメラによって、広範囲の地理的領域を昼夜問わず、高解像度の全天候型画像を得る任務を持続的に行っているとのことです。